

第 14 回日本アートマネジメント学会全国大会 趣意書

大会実行委員長 松本茂章（関西部会長）

◆大会の概要

大会テーマ「縮小時代の地平を拓く」

日 時

2011 年 12 月 1 日（土曜）午前 9 時—午後 7 時

会 場

神戸市立灘区民ホール（神戸市灘区岸地通 1-1-1）
（JR 六甲道駅あるいは阪急王子公園駅、下車）

◆大会の問題意識

東日本大震災（2011 年 3 月）や長期の経済低迷、人口減少などに伴い、わが国は「縮小時代」に突入しています。右肩上がりの局面ばかりを体験してきた世代にとっては未知の世界に足を踏み入れることになり、バブル経済後に生まれ育った若者たちにとっては出口の見えない迷路なのかもしれません。芸術文化にとっても、自治体の合併あるいは未曾有の自治体財政難などによって、文化施設や文化振興事業の縮小も行われ始めました。

アートとマネジメントを考える私たちは、今、どのような姿勢で世情を分析し、芸術文化の未来を見つめればいいのでしょうか？ 縮小時代と向き合うためには何が必要なのでしょうか？

上記の問題意識から、2012 年 12 月に神戸で開催する第 14 回全国大会のテーマについて語り合った結果、「縮小時代の地平を拓く」と決めました。

いくつかの理由があります。1 つには、開催地となる神戸は阪神・淡路大震災（1995 年 1 月）を体験し、大きな被害に遭いながらも復興を遂げてきた都市です。会場となる灘区民ホールの周辺は甚大な被害を蒙りました。同ホール自体が犠牲者の遺体安置所となり、自宅を失った被災者の避難場所となりました。あれから 17 年……。東日本大震災からの復興を考える際、神戸の先駆的な体験は貴重な事例となります。2 つには、文化行政の後退がみられることです。施設の廃止や事業の中止、補助金打ち切りなどの事例はいくつもあります。特に、大阪府や大阪市の事例について全国の方とともに考えていきたいと願います。3 つには、指定管理者制度の導入や劇場法の制定など公立文化施設を取り巻く環境が激しく動いています。会場に選んだ灘区民ホールは、元神戸市職員と神戸大学大学院修了生が合同会社をつくり、指定管理者に選定された異色の公立文化施設です。このような会場で開催するだけに、揺れる公立文化施設の将来像を検討したいと考えました。

「縮小時代」……。この言葉に反発される方もいらっしゃるかもしれません。解釈は自由です。縮小時代だからこそ、芸術や文化の役割が重要となるので、文化施設や事業が縮

小されないように抗う、という考え方もできます。経済規模が小さくなるに伴い、文化政策も応分に縮小する必要がある、という立場もあり得るでしょう。あるいは人口増を前提としてきた日本の都市の将来像に対して思いをはせる場になります。

多様な解釈のできるテーマを選定したのは、それぞれの問題意識を抱えた方々に参集いただき、熱っぽい論議を展開したいと願ったからです。

◆シンポジウム

大会テーマ「縮小時代の地平を拓く」に対応したシンポジウムを開催したいと準備を進めています。現時点では詳しくお知らせできませんが、地域発で芸術文化活動の実践に取り組んだり、連携を果たしたりするなど、先駆的な文化施設あるいは芸術団体・文化事業の代表者をお招きし、活発な論議を繰り広げるつもりです。コーディネーターは中川幾郎・帝塚山大学教授（元日本アートマネジメント学会関西支部会長）が務めます。

◆分科会

同様に大会テーマに対応した分科会を設定できれば幸いです。実行委員会では今のところ、次のような分科会を開きたいと検討しています。発表は会員に限られます。

「縮小時代のアートマネジメント」(カンパニー・マネジメント、リスクマネジメントなど)

「ポスト・クリエイティブシティ」

「人材育成」

「企業メセナ（CSR）」

「指定管理者制度の現状と課題」

「自由論題」

希望者は9月28日までに申し込みください。適切なグループ化を図り、発表者を選定いたします。上記に当てはまらなくても対応いたしますので、積極的にご応募ください。

◆招待フォーラム（現場からの報告）

先に述べましたように、今大会の会場である神戸市立灘区民ホールの現状を鑑み、文化施設と指定管理者の課題を論議する場として招待フォーラムを新たに設けます。先駆的な試みを果たしている文化施設や芸術団体・文化事業の関係者の参加・発表をお待ちします。

このほか、ラウンドテーブル、団体・企業展示、学部生によるポスターセッションなども予定しております。詳しくは募集要項をご覧ください。

日本アートマネジメント学会全国大会の関西開催は、大阪の劇場寺院・應典院（2007年）以来5年ぶりの試みとなります。ぜひ神戸のまちにお越しいただければ幸いに存じます。みなさまのご参加を心からお待ち申し上げます。